


恋

人

僕はその先に待つ
ヴィクトルのいない未来ばかりを
想像していた…。

R-18





ヴィクトルのいない
ロシア大会が終わった

愛と呼べる感情を知って
僕は強くなったんだって
誰よりもヴィクトルに証明したかったのに

実際は全然だめで…



ギリギリファイナルに
進めはしたものの

僕はその先に待つ
ヴィクトルのいない
未来ばかりを想像していた

食欲旺盛なのは元気な証だから
許してあげて

うん！もちろん！
元気になってよかったよ



今空港だよ。
ヴィクトルはどうしてる？

勇利！ 今マッカチンと
オマンジュ半分こしてるところだよ！

えっ、またお饅頭？
大丈夫なの？

うん！ 喉に詰まったことは忘れてるけど
美味しかったことは覚えてみたいでね

あはは
マッカチンらしいね

ほんとだよ。しかも食欲旺盛で
俺の分がほとんど無いんだから！
ひどいよー！

僕たちはもうすぐ
お別れになる

そう





あ、ごめん。そろそろ
飛行機的时间だ

オーケー
気を付けて帰っておいで

うんありがとう
また後でね！



その方がいいんだ

彼の競技者人生を、僕なんかのために
犠牲にさせてしまっているのだから

どうしたの？



勇利

ん？



!

早く会いたいよ

だから今の僕にできることは
全力でグランプリファイナルの
金メダルを……



やめてよ
ヴィクトル……

ん？

僕も会いたい

そんな事言われたら

嬉しすぎて
胸が苦しい...



勇利、
少し眠る？

着いたら起こしてあげるよ



ありがとう……
でも大丈夫





なんか……

せっかくヴィクトルに
会えたから……
眠っちゃうの勿体なくて



随分可愛いこと
言ってくれるんだね



だって僕……

ずっと
ヴィクトルに
会いたかったから

ロシアで別れてから
頭の中ヴィクトルで
いっぱい……

そればかり考えてたら
ジャンプでミスしちゃったし

その後も滑りながら
あー、ヴィクトルに会ったら
怒られちゃうなって考えてた

あと……

あと……
ヴィクトルのハグが
特別だったんだって
改めて気づいた……

あ、

あとねっ
ユリオがピロシキくれたんだよ！
しかもカツ丼入ってるやつ

それがすごく美味しくて
ヴィクトルと食べたかった
って思ったんだ





どうして...



他にもたくさん
話じたい事あったのに...
ヴィクトルの顔見たら
すごく...苦しくて...



ねえ 勇利



わからない...

うまく言葉に
できないんだ...



なら

言葉じゃなければ
表現できる？



シ—
Shhh...

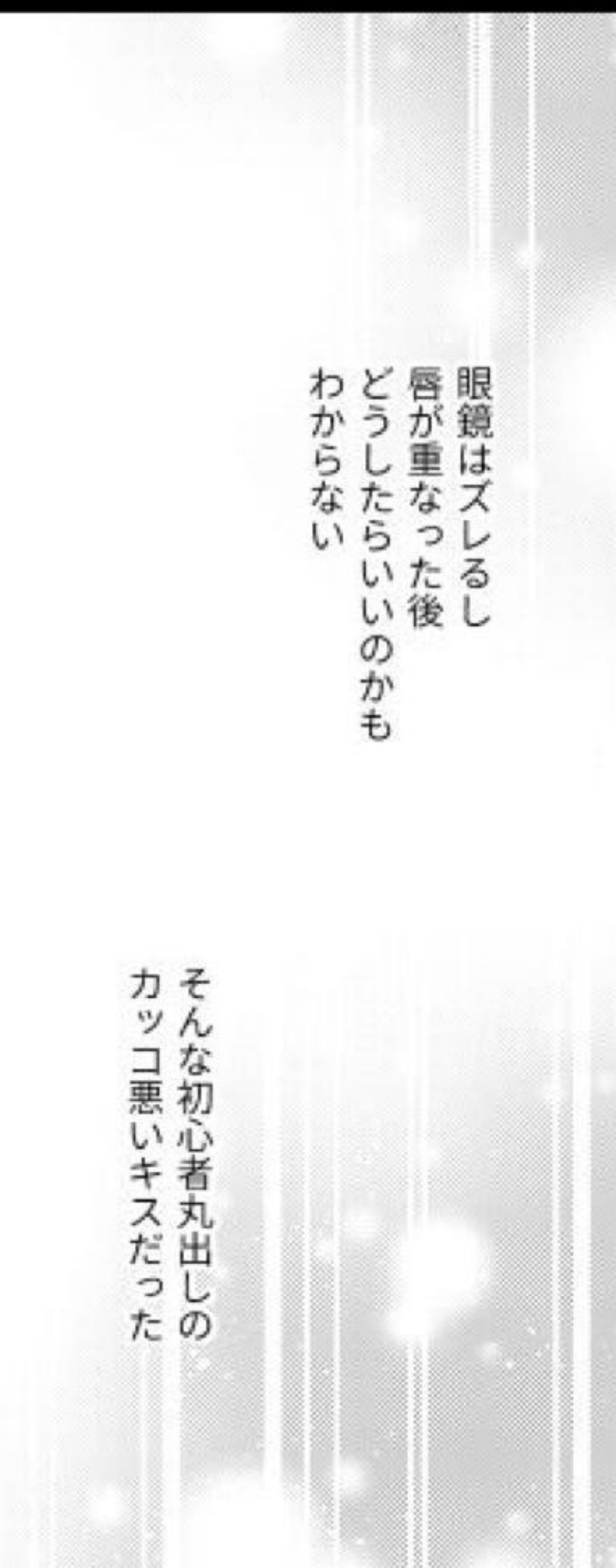


えっ、それ
どういう...





考えてる時間も
心の余裕もなく……僕は……

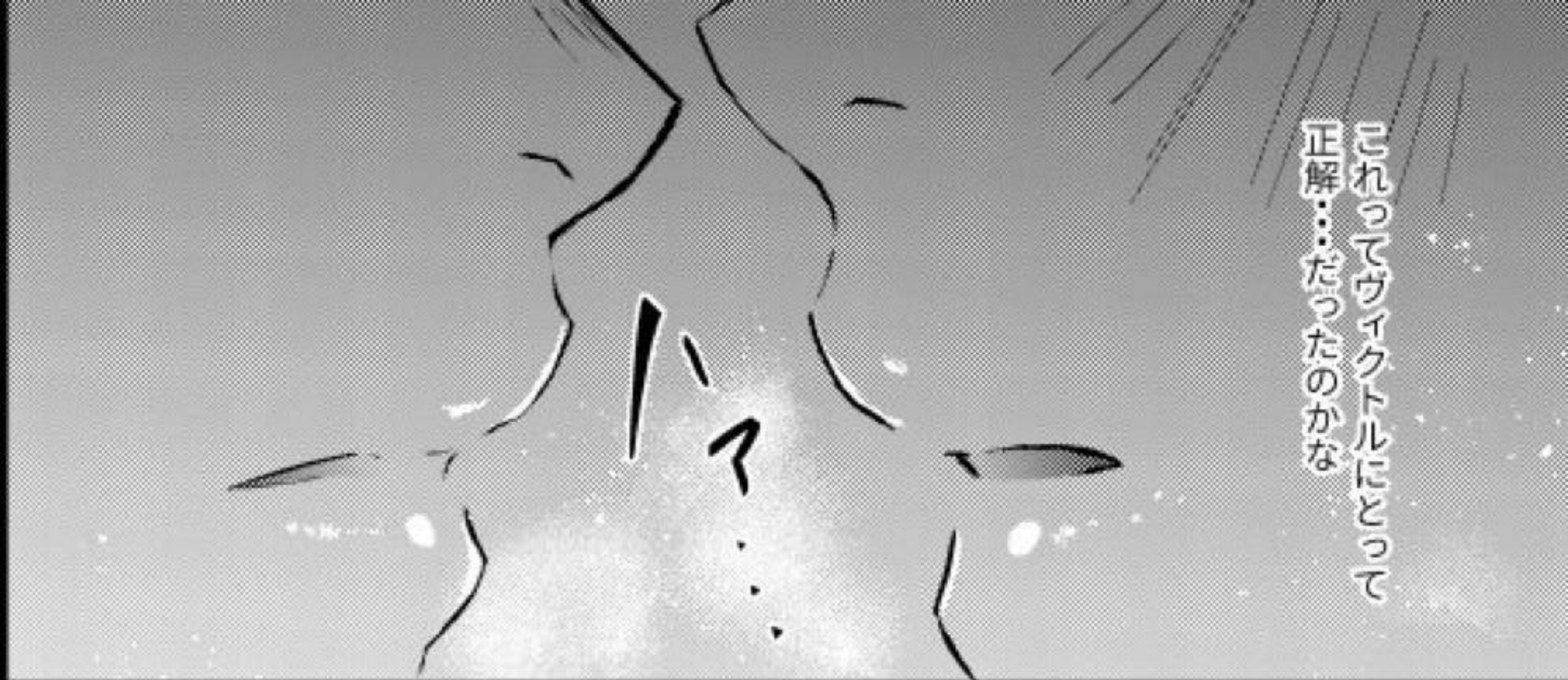


眼鏡はズレるし
唇が重なった後
どうしたらいいのかも
わからない

そんな初心者丸出しの
カッコ悪いキスだった



吸い寄せられるように
ヴィクトルにキスをした



これってヴィクトルにとって
正解……だったのかな



謝るなんて、ずるいよ……



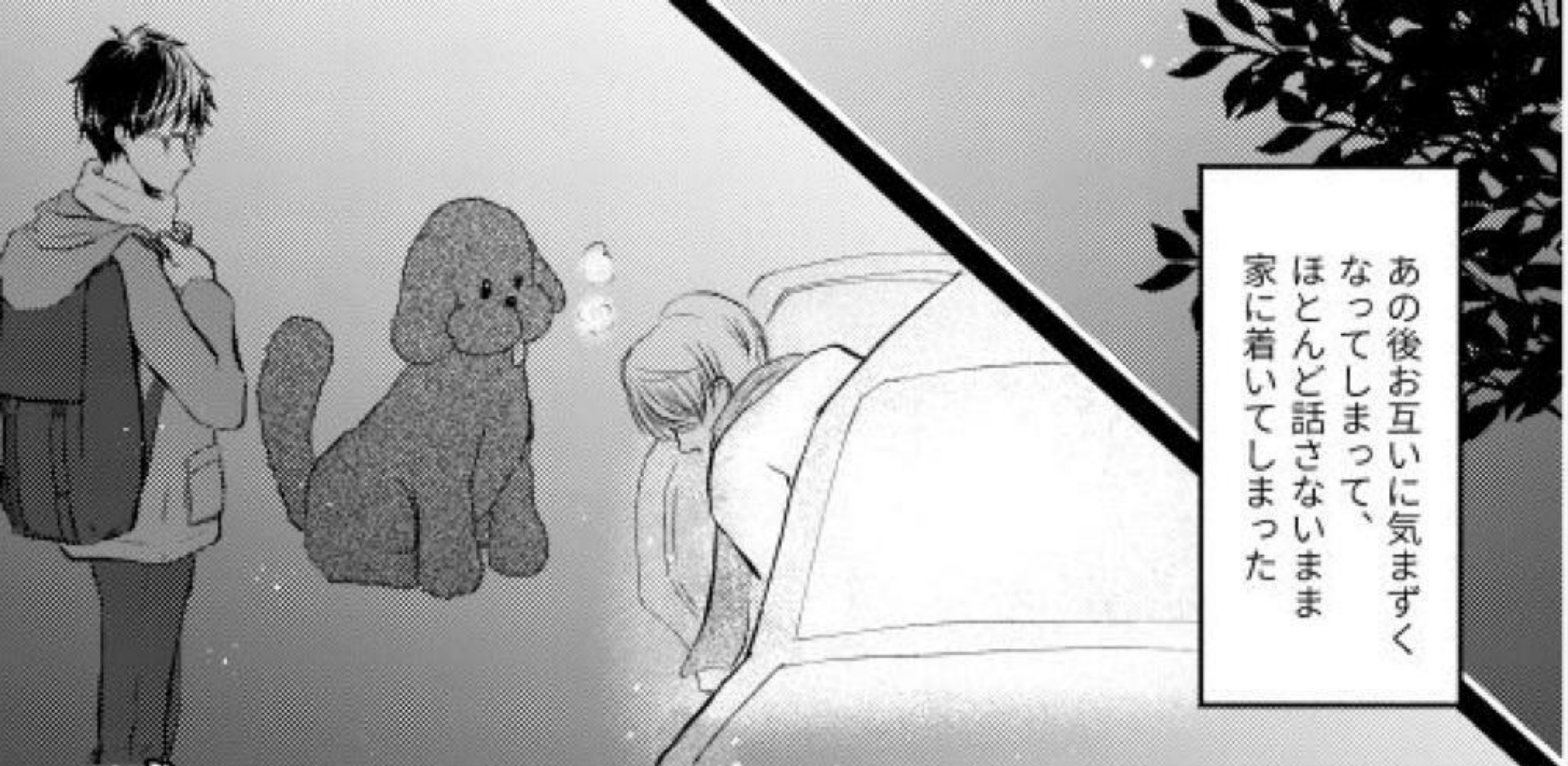
あれ……？

え……？
嘘……



ご、ごめん！
僕っ、その……

勇利



あの後お互いに気まずく
なってしまうって、
ほとんど話さないまま
家に着いてしまった



どうしてなの…
何話したら
いいのかな…



…勇利







ヴィクトルが
僕にキス……？



はあ……



勇利……

あ、また……

あ……

あ……



よかった

嫌われてなかったんだ……



嘘…
舌が…

あや…

れう



あや…

あや…

あや…



まっ…
待って ヴィクトル!!

あや…



嫌だった？



ふ。
あ。



でもあれは……
恋人のキスでしょ？



嫌じゃ……ないよ……

僕たちは

違うよね……？

ホィヤッ
……

そっか

ビックリさせちゃったね
ごめんごめん

ううん……大丈夫

ならよかった

あ、勇利ちよっと
身体冷えちゃったね
家に入ろうか

こうしていれば温かいから
もうちよっとだけ二人でいたい、
なんて言えるわけもなくて

僕はただヴィクトルの腕の中で
頷くことしか出来なかった

ねえ勇利

もう一度だけ
キスしてもいい？

今度はびっくり
させないから

……

聞かないでよ……

ヴィクトルともう一度
キスをした瞬間に気付いてしまった

たぶん僕は
ヴィクトルの事が……





なんで
いつも通りなのかなあ……

ち
ら

ヴィクトルだって
もうちょっと気にして
くれてもいいんじゃないの？

って、いうか、あんな事
あつたんだからさ
ロシアだったら
付き合ってるんじゃないの？

メ
ラ
グ

ヴィクトルが何考えてるのか
全然わかんないよ……

も
じ
……



いやあ楽しかったね、勇利！
みんな凄く喜んでたし！

うん、そうだね

金メダル獲ったら
もつと大きなパーティ
開いてもらわなくっちゃ！



じゃあおやすみ 勇利
また明日ね

うん、
おやすみなさい
ヴィクトル

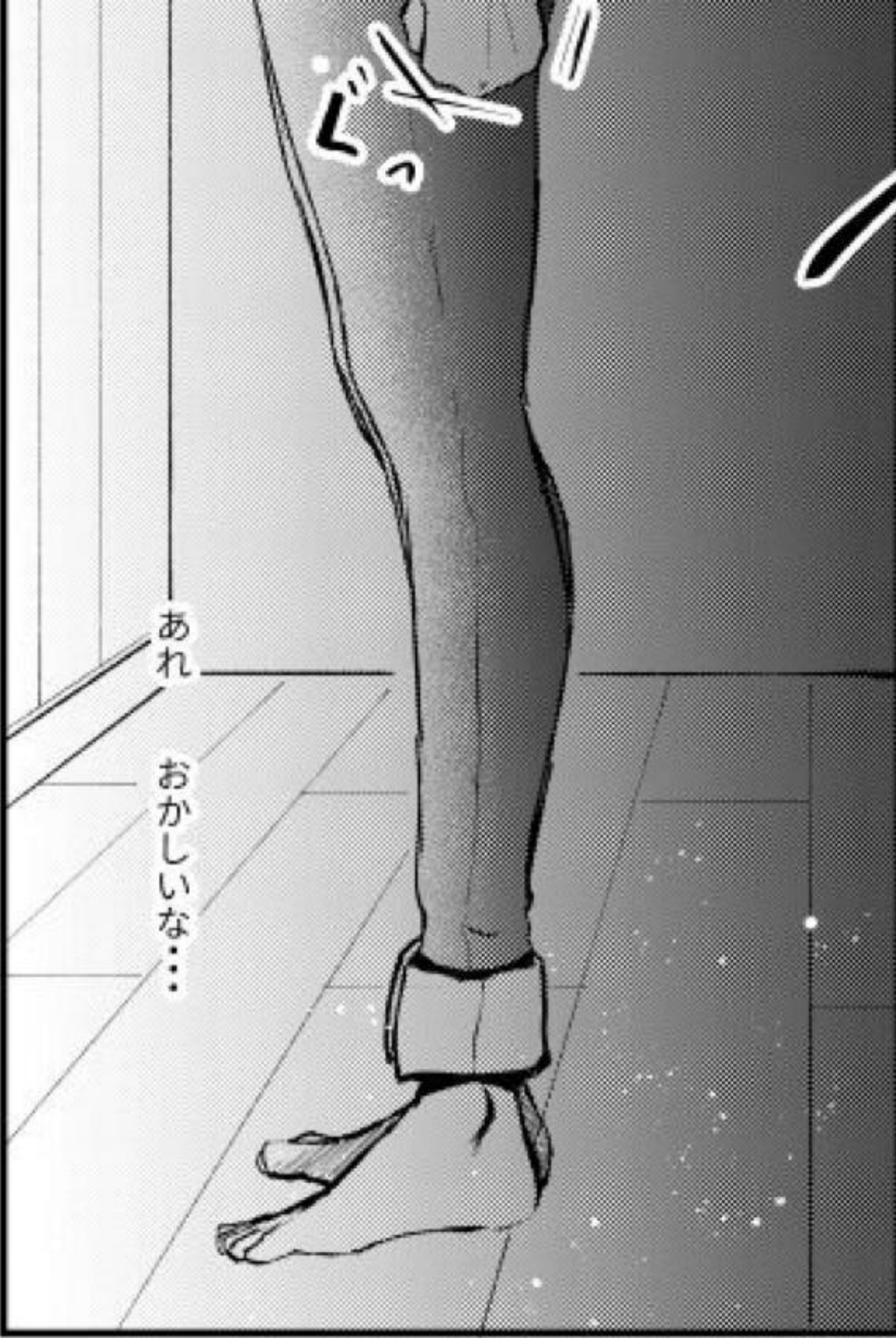


あ、明日の練習は
午後からにしよう
今日は移動で
疲れただろう？

ほらまたそうやって
いつもみたいに
僕に触れる……

うん……

カ
ク
ン



あれ

おかしいな……



もうヴァイクトルに
会いたくてたまらない……

大丈夫：・僕だって
いつも通りにしていれば

「
っ
...



あつ、あのさ
ヴィクトル!

もう少し
話さないツ!?



オーケー勇利!
俺は全然かまわないよ



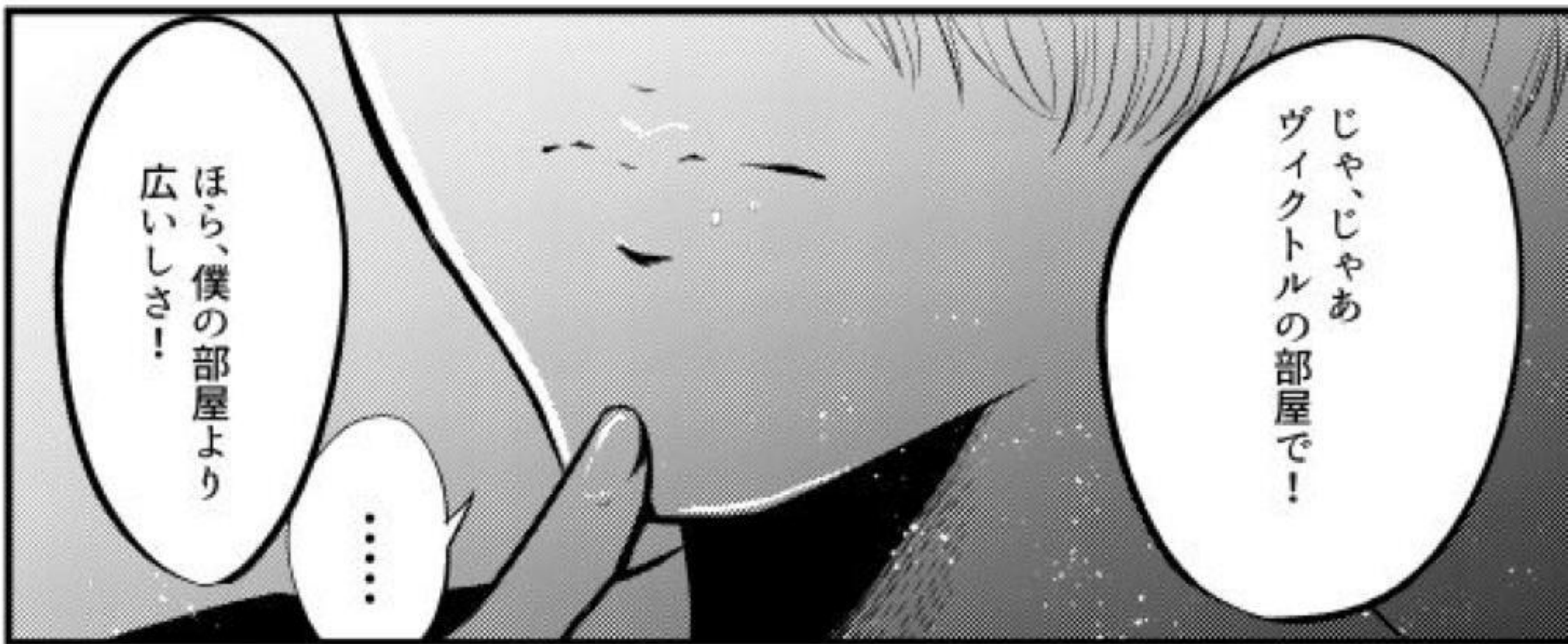
ヤバい...
ちよっと西へ戻った

↑





でもどこで話す？
俺の部屋？
勇利の部屋？
それとも散歩でも行く？



じゃ、じゃあ
ヴィクトルの部屋で！

ほら、僕の部屋より
広いしさー！

...



俺のこの質問の意味

わかってる？



あのさ
勇利

え……？

わかってない
みたいだから、
説明するね

さつき勇利からキス
してくれたよね？

う、うん

そのあと
俺からもキスした

うん

勇利はその時
嫌じゃないって言ったね？

……うん

じゃあそんな事が
あった後

二人きりで部屋にいたら
どうなると思う？

勇利は
違うかもしれない

でも俺は
我慢してるんだよ？



ヴィクトルがいつも通りだから、
僕も普通にしようとしたのに……

なんでそうやって
思わせぶりに突き放すの？

じゃあなんで……
あんな、恋人みたいなの……っ

勇利

ああ、女の子の代わり？
それとも経験なさそうだから
ちよつとからかってみた？

ツ！ そんなわけ
ないだろう!?

やめてよ!!





だめだよそんなに
ベタベタ触ったら…
僕みたいな人間は、
期待しちゃうからさ

勇利…

ごめん、
僕の態度こそ
紛らわしかったよね

勇利、違う



じゃあなんで!?



そんなの……ッ!



好きだからに
決まってるだろう……



遅いよ...



おいで
勇利

話をしよう

え？ ミナコ先生？

うん
さっきの飲みの席でね
俺ミナコに言ったんだ

好きな子がキスをしてくれた
これで晴れて恋人同士だ！
ってね

そうしたら……

へー、相手日本人なんだ

じゃあ案外相手は
付き合ってるとは思
ってないかもよ？

そもそも日本人が
付き合ってるって言うのは
告白があつてからが多いしねえ



自分の気持ちを
ちゃんと伝えよう
って思ったんだよ

盛大なサプライズを
考えて

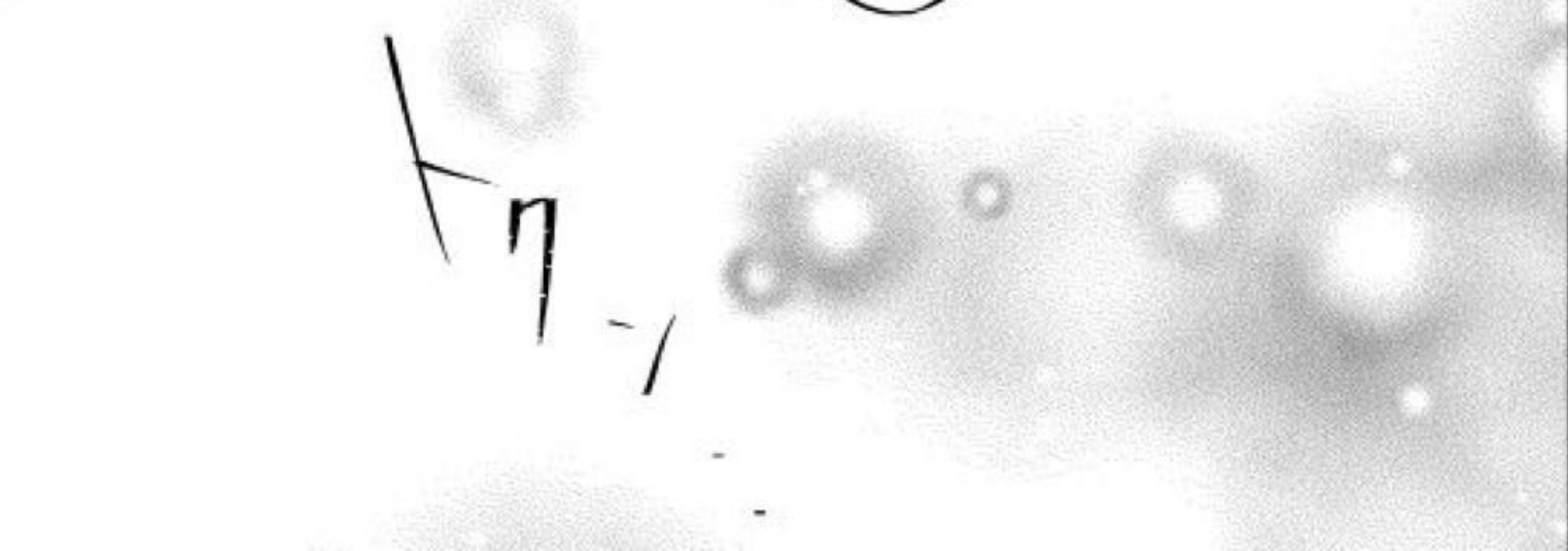


それを聞いて 俺



勇利は本当に
俺の思い通りに
ならないよね

なのに俺の教え子ときたら……





や、だあ……
下に皆いるから……っ

びん
びん



勇利……
声我慢しないで、
もっと聞きたい……

ほ……
う……



くちゅ

ぬちゅ



ああ、勇利……

好きだよ……
愛してる

うん……っ
んっんう……!!

じゃあ、キスしててくれる？
ちよつと強くするから……

んっ……

ちゅっ……

びん
びん



勇利……？

どうして
泣いてるの……？



ふわっ

ああ……
そっか……

えっ!? 勇利
また泣いてるの!?

うっん、嬉しい……
これは……うれし涙

恋人ならずとずっと……
ヴィクトルのそばにいられるんだ
ヴィクトルが僕の
コーチじゃなくなっても

そう……たとえば
僕が引退しても……

end